

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

日本TRIZ協議会
三原 祐治

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

TRIZシンポジウム参加のお礼
と
日本TRIZ協会活動参加の
おさそい

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

皆さん、第3回TRIZシンポジウムでの3日間お疲れ様でした。おかげさまでシンポジウムも日程を終えようとしていますが、充実した内容の3日間だったのではないかと思います。

主催の一翼を担ったものとして、今回の企画は成功したといっても良いのではないかと自讃しておりますが、これも皆さんのご協力があったのものであります。

厚くお礼を申し上げます。

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

このシンポジウムは、こういう企画を実現したいと思い立った有志メンバーで作られた
「TRIZ協議会」という組織が中心となって準備

「TRIZ協議会」

- ・全くの素人の集まり
- ・TRIZに関心をもっている広い範囲の日本の同志と一緒にこういう企画を持ちたいー夢



とにかく一緒に議論できる場を作ることが大切

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

一昨年～今年の3回のシンポジウムから

・TRIZが日本に着実に定着しつつある
という実感

-
- ・第1回参加者数 104名(日本100名+海外4名)
 - ・第2回参加者数 157名(日本139名+海外18名)
 - ・第3回参加者数 202名(日本189名+海外13名)

うち9名はチュートリアルのみ参加

・シンポジウムは、この実感が形として表わされたもので、それが更にTRIZの定着に寄与

TRIZシンポジウム発表者・参加者

| | | 第 1 回 | | 第 2 回 | | 第 3 回 (今回) | | |
|---------|---------------------|--|-------|---|-------------------------------|--|-----------------------|-----|
| 論文発表者 | 国内 | 大学 | 大阪学院大 | 1 | 大阪学院大(2),中京大,京大, 山口大,神奈川工大 | 6 | 大阪学院大,京大,都立大 | 3 |
| | 一般企業 | 日立製作所(3),松下電 器,松下電工,富士フイルム, 富士ゼロックス,日産自動 車,川崎重工 | 9 | 日立製作所,松下電工,PCC 富士フイルム,コニカミルタ,NEC, 東芝ソノオ,日東電工,東亜DKK, 効ノ | 10 | 日立製作所,日立GST, 東芝,東芝ソノオ,松下電器, 松下電工 | 10 | |
| | 個人他 | 個人, 佐野国際特許事務所 | 2 | 個人, 佐野国際特許事務所 | 2 | 個人(2),MRA知識創造研 究会,DPAM研究会, アイデアマラソン研究所, 林技術士事務所 | 6 | |
| | サービス提供者 | 三菱総研,産能大, 創造開発イニシアチブ, アイデア,ハットブレン | 5 | 産能大(2),創造開発イニシアチブ, アイデア,ハットブレン | 5 | 産能大(2),アイデア(2), ハットブレン | 5 | |
| | 海外 | 米国,EU,韓国 | 3 | 米国(3),EU(2),台湾(2),韓国, インド,ロシア,中国 | 11 | EU(3),韓国(3),米国(2), ロシア(2) | 10 | |
| | 計 | | 20 | | 34 | | 34 | |
| チュートリアル | | | | | | 産能大,PCC | 2 | |
| 参加者* | 企業ユーザー | | 71 | | 94 | | 142 | |
| | 教育・コンサルタ ツールベンダー | | 9 | | 43 | | 42 | |
| | その他 | | 15 | | 2 | | 1 | |
| | 計 | | 9 | | 8 | | 17 | |
| | 計 | | 104 | | (最終的に157名) | 147 | チュートリアル参加のみの 9人を含む | 202 |

* 講演者を含む

07年8月28日現在

第3回TRIZシンポジウムでは

- 講演形式と個別的な深い議論を行えるポスター形式の併用
- 講演はパラレルセッション形式を採用
- 2つのチュートリアルセッション(ベーシック&アドバンスト)を用意
←前回の参加者の要望を反映

次回 第4回TRIZシンポジウムでは

- 今からTRIZの活動の中に発表を意識した活動を！
→多くの発表と活発な議論を期待します
- 研究会活動の成果もここで発表できるようにしていきたい
- チュートリアルのような普及教育活動も継続したい

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

次回のシンポジウム開催のための
会場情報をお寄せください。

- ・250～300人規模の会場をもっている施設
- ・サブ会場130～150人用
- ・ポスターセッション用会場

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

- ・3回の企画がそれぞれ**100人を超える方々**に関心を持って
いただいで開催できた

期待
と
希望

規模の点に於いては
TRIZCON(米)をしのぎ、
ETRIA(欧州)と並ぶ規模

- ・TRIZに関心をもつ日本の方々が集まる組織を作り
- ・その公的な組織が「TRIZシンポジウム」を開催する

今後

ようにしたい

- ・TRIZに関心をもつ日本の方々が集まる組織
⇒ **日本TRIZ協会の設立**
- ・次回から日本TRIZ協会が「TRIZシンポジウム」を開催する
併せてTRIZに関する研究会活動等を行う

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

次回以降の「TRIZシンポジウム」の開催を含めて
日本のTRIZ関係者をサポートする組織として

「日本TRIZ協会」 を設立しました

→ **日本TRIZ協会への加入をお願いします**

<http://www.triz-japan.org/>

現在NPO法人として申請中ですが、程なく認可される予定です

「日本TRIZ協会」活動へのご参加のお願い

日本TRIZ協会では、以下の活動を予定しています

1. TRIZシンポジウムの企画開催

- ・国内中心で海外からの参加もよびかける。1回／年開催。
「TRIZ協会」会員の参加費優待を行う。

2. 研究会活動

- ・TRIZの適用方法、事例研究など、TRIZを様々な分野、場面で活用するための研究とガイダンスの構築を目指し、TRIZの普及・発展に供する。
「TRIZ協会」会員は参加できる。

3. セミナーの企画開催

- ・関係協力機関との共催または後援／協賛によるセミナー開催を行う。
この場合「TRIZ協会」会員優待を行うようにする。

4. 教育／出版用コンテンツの開発

- ・教育・普及のためのコンテンツを開発し、書籍出版、eラーニング、講習会などで活用
- ・既存文献(特に英語の)、上記研究会の成果、関係協力機関のコンテンツ、等の活用

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

「日本TRIZ協会」活動へのご参加のお願い

日本TRIZ協会では、活動の内容を充実させるべく

シンポジウム以外にTRIZに関する研究会を開催しています。

○現在2つの研究会が進行中

| | |
|---------|-----------------|
| 活動中の研究会 | ・知財創造研究会 |
| | ・ビジネス・経営TRIZ研究会 |
| 企画中の研究会 | ・ソフトウェアTRIZ研究会 |

○上記以外に検討したいテーマがありましたらご意見を下さい。

ご希望の内容を検討して研究会を具体化したいと考えております

→ **TRIZ協会への加入をお願いします**

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

TRIZを、広く日本に普及し、それによる産業の発展をめざして

**次回のシンポジウムには是非発表
をお願いします**

と同時に、今年同様活発な意見交換をして下さい

第3回シンポジウム準備会メンバー

| | | | |
|--------|--------------|--------|---------------------------|
| 林 利弘 | (林 技術士事務所) | 前古 護 | (アイデア) |
| 三原 祐治 | (創造性工学研究所) | 水野 栄一 | (エム・アール・アイ リサーチアソシエイツ) |
| 黒澤 慎輔 | (産業能率大学) | 奥住 直明 | (東芝) |
| 小西 慶久 | (元 三菱総研) | 玉井 誠一郎 | (松下電器産業) |
| 中川 徹 | (大阪学院大学) | 岡 建樹 | (コニカミノルタビジネステクノロジーズ) |
| 堀田 政利 | (創造開発イニシアチブ) | 仲畑 光蔵 | (日立製作所) |
| 正木 敏明 | (日東電工) | 横山 和正 | (東芝) |
| 片岡 敏光 | (パットブレーン) | 後藤 一雄 | (リコー) |
| 池田 和康 | (積水エンジニアリング) | 高田 由利子 | (日本TRIZ協議会) |
| 長谷川 公彦 | (佐野国際特許事務所) | | 【順不同、敬称略】 |
| 海野 誠 | (川崎重工) | | |

皆さんご苦労様でした

第3回TRIZシンポジウム 閉会にあたって

第3回TRIZシンポジウムへの
ご参加
ありがとうございました